

日銀事務所長の
あさひかわ経済
あれこれ No.38

皆さんは「中核市」という言葉をご存知でしょうか。普段、あまり見聞きすることがないの、知らない方も多いかと思えます。中核市は人口20万人以上を要件として、政令で指定される都市です。通常、都道府県が担う保健衛生などの事務の一部を都道府県から権限委譲を受けて、自ら処理すること

中核市62市のデータでみる旭川の姿

ができません。現在、中核市は全国に62市あり、旭川市は2000年に中核市になりました。今回は、比較的大きな都市である、中核市62市の中の旭川の立ち位置を、本年2月公表のデータを元にみてみます。

まずは人口です。旭川は62市中38位で、62市の平均を4万人近く下回っています。旭川は中核市の中では人口が多い方ではありません。人口における旭川の特徴は、平均に比べて65歳以上の割合が高く、64歳以下の割合が

低いことです。65歳以上の高齢者人口の割合は62市中4位、15〜64歳の生産年齢人口の割合は58位、0〜14歳の年少人口の割合は59位です。こうした人口構成を映じて、旭川では高齢者福祉施設の充実振りが際立っています。老人ホームの施設数は、平均数であるほか、指定介護サービス事業所数も平均を上回っています。

また、医療体制をみても、病院数が10位、人口10万人当たり病床数は6位、医師数が17

ましよう。製造品出荷額は53位、小売業・卸売業の商品販売額は32位といずれも平均を下回っています。経済活動については、他の中核市に比べると、あまり活発とは言えないようです。それを受けて、市の主な歳入である市税も人口規模からすると少なめで、歳入に占める割合は59位です。

めになっています。

最後に、都市環境で旭川の優れているところをみてみましょう。

1つは1人当たり公園面積です。公園数では29位ですが、1人当たりの面積は5位です。旭川は、郊外はもとろん街中の自然環境も豊かです。もう1つは図書館の100人当たり蔵書数です。こちらも全体の蔵書数では13位ですが、100人当たりでは5位です。図書館の蔵書の充実振りは、当地が井上靖や三浦綾子といった優れた文学者を輩出したこととも関係があるかもしれません。

でみた旭川の姿はいかがだったでしょうか。私自身は、ほぼ想定どおりだった中にも、新たな発見がありました。改めてデータを集め、比較し、評価することの大切さを実感した次第です。今後も謙虚にデータと向き合い、行政や企業の方々の活きた情報に触れながら、旭川の経済の姿や動きをしっかりと捉えて発信していきたいと思えます。

(毎月第四週に掲載します)

中核市62市における旭川の立ち位置(その1)

	人口(人)	0-14歳人口の比率(%)	15-64歳人口の比率(%)	65歳以上人口の比率(%)	老人ホームの施設数(力所)	老人ホームの定員(人)
1位	船橋市 645,972	那覇市 14.5	川崎市 65.0	函館市 36.6	旭川市 319	旭川市 8,929
2位	川崎市 605,067	明石市 14.0	船橋市 63.5	下関市 36.2	鹿児島市 267	川崎市 8,730
3位	鹿児島市 598,509	吹田市 13.9	豊田市 62.8	浜市 35.1	宮崎市 235	鹿児島市 8,478
旭川市の順位	38位旭川市 326,057	59位旭川市 10.4	58位旭川市 54.9	4位旭川市 34.7	-	-

(注)老人ホームの施設数・定員は、介護老人ホーム、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームの計。(出所)中核市市長会「都市要覧」

中核市62市における旭川の立ち位置(その2)

	病院数(箇所)	人口10万人当たり病床数(床)	一般診療所数(箇所)	歯科診療所数(箇所)	人口10万人当たり医師数(数)	人口10万人当たり歯科医師数(人)	人口10万人当たり薬剤師数(人)
1位	鹿児島市 87	高崎市 2,673.8	西宮市 563	鹿児島市 377	吹田市 638.5	吹田市 183.4	高崎市 367.5
2位	高崎市 61	長崎市 2,576.4	鹿児島市 546	船橋市 324	久留米市 598.4	盛岡市 156.7	吹田市 367.0
3位	大分市 53	函館市 2,541.3	長崎市 512	宇都宮市 304	松本市 547.1	長崎市 144.2	富山市 355.4
旭川市の順位	10位旭川市 36	6位旭川市 2,231.5	49位旭川市 227	38位旭川市 172	17位旭川市 399.3	43位旭川市 74.7	29位旭川市 266.0

(出所)中核市市長会「都市要覧」

中核市62市における旭川の立ち位置(その3)

	製造品出荷額(百万円)	年間商品販売額(百万円)	市税が歳入に占める割合(%)	地方交付税が歳入に占める割合(%)	1人当たり公園面積(m ²)	100人当たり蔵書数(冊)
1位	豊田市 15,171,656	高崎市 3,057,010	岡崎市 46.1	函館市 23.2	奈良市 28.3	松本市 553.2
2位	倉敷市 3,878,611	金沢市 2,772,725	豊田市 46.0	青森市 21.2	函館市 24.6	福井市 482.5
3位	大分市 2,765,977	宇都宮市 2,614,427	吹田市 45.1	下関市 21.1	宮崎市 23.5	高崎市 465.1
旭川市の順位	53位旭川市 223,334	32位旭川市 1,063,246	59位旭川市 20.6%	8位旭川市 18.0	5位旭川市 22.1	5位旭川市 390.7

(出所)中核市市長会「都市要覧」



「大賀健司(おがけんじ) 一九六五年神奈川県生まれ。青山学院大学法学部卒。業務局企画役、青森支店次長、政策委員会企画役、静岡支店次長を経て二〇二〇年に旭川事務所長に就任。

文中※の「42位」は、正しくは「43位」、
表※※の(数)は、正しくは(人)です